

○三陸北部森林管理署の「採材現地検討会」に出席しました。

青森事務所では毎年、森林管理署等の採材現地検討会等に参加し、技術指導や情報提供などを行うことで、国有林材を円滑・効果的に活用するよう努めています。

令和2年10月9日(金)に岩手県宮古市川井の門馬山国有林で開催された「令和2年度 採材現地検討会」に、青森事務所から2名出席してきました。

秋晴れの晴天のなか、コロナ感染症予防のためマスクを着用をした上で、林業関係団体や県、市町村担当者、製材業者、署管内の林業事業体など60名を超える参加者で開催されました。

会場はカラマツ間伐箇所で開催され、今回の採材検討会ではスギ、カラマツの採材について検討を行いました。

署長挨拶後、署担当者から当該箇所の事業概要とスギ、カラマツの採材について資料を元に説明があり、その後採材の検討に移りました。3本のカラマツと2本のスギ全幹材について、署管内の生産請負の事業体ごとに5班に分かれて採材方法の検討を行い、検討した結果を発表しました。岩手県森林組合連合会から採材にあたっての留意点等を説明していただくなど、採材について意見交換を行いました。

その後、今年度導入された、iPadにより林道沿いに積まれた丸太を写真撮影するだけで本数や材積を計測できるアプリ「AI丸太検知くん」を紹介・実演し、林業事業体等の参加者にも実際に使用してもらいました。

最後に青森事務所からは、採材検討会の講評として、スギ等針葉樹合板材の4m採材の推進や広葉樹の一般材比率の向上、労働安全について説明させていただき検討会を終了しました。

青森事務所では今後も採材検討会に積極的に参加し、国有林材の有効な利用に貢献して参りたいと考えています。

